



代表的な3つのチャンネル、[日系居酒屋][現地系居酒屋][中華レストラン]でウォッチング



①[和民]

■数多い日系飲食店の中でも、和民は繁盛しています。台北に数店、台湾全土で15店舗。  
 ■日本の和民では清酒銘柄がたくさんあったと思いますが、台湾では自社ブランド「和民」(当社のアート壺！)450元と、銘柄記載なしの「清酒大」220元・「小」150元の3種。焼酎(写真では切れていますが)、自社ブランド「わたみ」と、芋「えいしん」、麦「いいちこ」の3種でした。  
 ■ビールは日本の和民ではサントリーですが、台湾はアサヒ。生ビールのほか、「乾杯」(中国製、140元)と「スーパードライ」(日本製、160元)の2種。ウイスキー(威士忌)も、日本ではサントリーですが、台湾ではニッカです。



②[現地系日式居酒屋]

■現地系とおぼしき「響食御縁」というお店。「上善如水」900元と「黄桜吟醸」300元をいただきました。  
 ■食事メニューは、お好み焼き、ホットケ、プリカマなど充実。私たち以外のお客はすべて台湾の方、お店は繁盛していました。



③[中華レストラン]

■日本人客と地元客が相半ばする台北中心部のサントスホテル内の高級な中華レストラン。「麒麟」、「奥の松」、「獺祭」の3種がメニューに載っていました。「獺祭」は、ミニチュアの一升壺王冠(アルミ製の冠頭と、替栓)がついています。  
 ■サラッとした清酒は、冷やすと中華料理に結構合います。



Sake + beer in Taiwan 2012 (2pages) /120710 eh/mt





代表的な3つのチャンネル、**[コンビニ]** **[専門酒販店]** **[日系デパート]** でウォッチング



**①[コンビニ]**  
 ■台北にはセブンイレブン、ファミリーマートなどのコンビニがたくさんあります。  
 ■これはサントリーと麒麟のビール。どちらも中国の工場で作られたもの。なお、日本製の一番搾りやスーパードライも売っています。  
 ■清酒は、日本製の「月桂冠」のカップ(この日は特売で90元)と、台湾製(TTL)の「玉泉」(600mlで160元)の2種が定番。どのコンビニにも必ずありました。



**②[専門酒販店]**  
 ■台北市内に数店舗をある「橡木桶洋酒」(オークバレルの意味)はワインやウイスキーが専門ですが、日本酒もよく売れるそうです。  
 ■清酒は、月桂冠、ヤアガキ、羽陽男山、富貴など。ラベルを見ると、この会社が直輸入しているものが多い。一升壇のお値段は、男山1,350元、富貴699元など。  
 ■ウイスキーはスコッチ中心で日本製はサントリー響など僅か。KAVALANというウイスキーは台湾製！価格は有名スコッチ並み！！



**③[日系デパートの食品売り場]**  
 ■三越にて。清酒は月桂冠のアルミ缶と壇のみ。チョーヤ梅酒はたくさんの種類が並ぶ。  
 ■ビールは麒麟とアサヒ。日本製と、価格が若干安い中国製の両方が並ぶ。銀河高原ビールもありました。

